

特別支援教室だより

令和7年 9月
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信

今年度の「特別支援教室だより」では、一昨年お伝えした「児童のいろいろな困り」に対して、新たな視点での支援方法・手立てなど、巡回指導教員が考えた内容を掲載いたします。

【 今回のテーマ 】

休み明け、登校をしたがらない子

【 こんなことが考えられます 】

休み明け等、登校を渋ってしまう原因は様々です。

- ・対人関係の心配 友達、先生、クラブ・委員会 等
- ・学習の心配 勉強が難しい・分からない 苦手な教科・単元 行事への不安 等
- ・習い事の不調 成果が出ない 友達関係 意欲の低下 等
- ・生活リズムの乱れ ゲーム・ネットの使用時間の増加 朝食を食べられない 等
- ・体調不良 自身または家族の体調不良による不安や心配

上記はほんの一例だと思います。10人いれば、10通りの原因があるかもしれません。そもそも、本人も原因が分からないというケースも多くあるようです。

【 支援できることはなんでしょう 】

【 ポイント 】 気持ちに共感

・第一声

→「え？なんで？」と聞きたくなる気持ちを抑え、「そっか、行きたくないときもあるよね。」と、伝えてあげてください。どうしても行けない理由があり、勇気を出して「行きたくない。」と伝えてくれたのかもしれない。まずは、その気持ちに共感してあげましょう。

・さまざまな共感

→理由を聞くと、大人からすると肯定できる内容ではないかもしれませんが、その子にとっては大きな問題なのかもしれません。そのような時は否定せず、「あなたはそう感じたんだね。それなら辛いのも分かるよ。話してくれてありがとう。」と、内容ではなく、心の動きに共感してあげましょう。

→理由を話したがない場合もあります。そのような時は「話しにくいこともあるよね。力になりたいから、話せそうだったら聞かせてね。」と話せない気持ちに共感してあげましょう。

→自分でも理由が分からないような場合は、「分からないことも辛いね。」と伝え、思い当たる原因があれば、「もしかして〇〇のことかな。」と聞いてみてでもいいかもしれません。

・共感すれば登校する？

→共感することで気持ちが安定して登校できる場合もあれば、残念ながらその日は登校できないこともあるかもしれません。「困った時には相談していいんだ。」と子供が感じられる環境を整えることから始めていただければと思います。

本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。また、本校のホームページに「特別支援教室だより」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら

